

みてね展だより 第 11 号



2024 年 5 月 28 日 発行

文責：アートでつなぐユニバーサルデザインの会

第 10 回記念の「描いたよ！みてね展」が皆様のご支援により無事に終了できましたことを、紙面をお借りしてまずは御礼申し上げます。引き続き第 11 回「描いたよ！みてね展」を令和 6 年 10 月 20 日(日)～11 月 3 日(日)にかけて久我記念館で開催いたします。是非、ご来場、作品展示、搬入・搬出等のご協力をお願い致します。

今回よりワンヘルスとの協力関係を強くするため、「みてね展」にワンヘルスコーナーを作ることになりました。詳細は検討中です。

リポート：ワンヘルス国際フォーラムで、「みてね展」をアピール！

ワンヘルスとは、人の健康、動物の健康、環境の健全性を一体のものと捉える考え方です。生き物への眼差しを作品に描くことの多いアート活動は、ワンヘルスを感じる良い機会となります。今年(令和 6 年)の「みてね展」には、ワンヘルスコーナーを作ることになり今、アイデアを話し合っています。

ワンヘルスとの初めてのコラボは令和 2 年 2 月 6 日(木)～11 日(火)にかけて、(公社)福岡県獣医師会主催の「どうぶつ描いたよ！みてね展 in 九州芸文館」に協賛で作品展示したのが最初です。その後も冊子発行協力や講演会の参加など交流を行っています。

2024 年 2 月 17 日と 18 日の二日間、アクロス福岡 4F 国際会議場で、福岡県ワンヘルス国際フォーラム「ワンヘルスによるウェルビーイングの実現」が開催されました。

期間中、「みてね展」を毎年後援している NPO ことりがワンヘルスブースコーナーに出展をして、そこで「みてね展」を PR しました。

会場には、大津代表、孔遠さん、八尋美恵子さんが駆け付けて、「みてね展だより」を配ったり説明をして来場者と交流しました。孔遠さんの「春風」の原画は、海外の方の目に留まって大好評でした。



NPO ことりのワンヘルスブースコーナーに来場された方に「春風」を説明している大津孔遠氏(写真中央)と大津代表(写真左)。



福岡県獣医師会が 2021 年 1 月発行された冊子「ワンヘルス これまでこれから」の 52p で紹介された「春風」を冊子と一緒に原画を展示し大好評でした。

第 11 回みてね展にもキャプション作成で展示会参加 浦辺綾音さん

キャプション(作品・作者名)は作品展示に欠かせないアイテムです。昨年のみてね展では、浦辺綾音さんが手書きのキャプションづくりを引き受けてくれました。綾音さんは、高校卒業後、今は専門学校に通っていますが、今年も引き続き、キャプションを書いてくれるとのことでした。

手書きで書くので、校正も含めると多くの時間がかかります。作品を出品される方はタイトルだけでも早く連絡して頂くと綾音さんのキャプション作成が楽になります。ご協力を宜しくお願い致します。

秋の実り
一期

昨年の作品の一つ

「みんなの個展」のあゆみ！（連載 4 回目）

白いオオカミとネコとインコの旅

「みんなの個展」は「描いたよ！みてね展 2014」として、須恵町を中心とした実行委員会のみなさんが運営するようになりました。この年は、須恵町の発達ルームの先生方、こどもたち、保護者の方々はじめ、地元のみなさんのご協力で充実した作品展となりました。そして、大淵孔遠さんが手がけるのポスターの記念すべき最初の作品「垣根をこえて」が、誕生しました。久我記念館のレンガのイメージが背景に描かれていました。

ここから、白いオオカミとネコとインコが、仲間に出会っていく旅がはじまりました。

翌年の「みてね展 2015」の作品は、「はるかぜ」です。すてきな笑顔の動物たちの作品がシリーズとなり、ポストカードを作成しました。持続可能な活動にしていこうと運営費用も、こうやって知恵をだしあってすこしずつ集まる仕組みをつくっていきました。

親しみを込めて「みてね展」と呼んでくださる人も増えていきました。（つづく）



記念すべき最初の作品
「垣根をこえて」第 2 回
みてね展でスタート。
主人公の「白いオオカミ
とネコとインコ」が仲良
く重なっています。
第 3 回よりゲストとし
て新しい仲間が描かれ
ていきます。



みんなの個展
が
描いたよ！
みてね展
2015

第 3 回(2 作品目)のゲストは自由に飛び回る蝶々達でした。ゲストは毎回変わり仲間を増やします。

ウバユリ(姥百合)をご存じですか？ 生育も特異な植物です！

描いたよ！みてね展を開催させて頂いている「久我記念館」の裏の駐車場の入り口を過ぎた左側の法面でご覧になることができるそうです。里芋の葉に似た大きな葉に百合に似た花が咲きます。花期は夏(7~8月頃)との事で、少し先になります。漢字で書くと姥百合ですが、その名前の由来は「花が満開になる頃には葉が枯れてくる事が多いため、歯(葉)のない「姥」にたとえて名づけられたともいわれています。久我記念館は自然が一杯の素敵な場所にあります。花を探しての散策もお勧めです！



みてね展実行委員やサポートメンバーを募集いたします！！

私たちと一緒に実行委員として活動しませんか？ 実行委員が時間的に難しい場合は、展示会の時だけでもサポートメンバーとしてご協力いただける方を募集しています！事務局までお問合せ下さい！

皆様からの声を募集いたします！！

代表 大津 正勝 電話(090)1194-1357 メール Kitamen2043@yahoo.co.jp

事務局 山本 洋子 〒811-2115 粕屋郡須恵町佐谷 1314-38 電話 (090) 6423-3313

メール nowornever1357@icloud.com